

6 コマツナの作期別品種比較試験

背景と目的

本市におけるコマツナ栽培では、低温期の発芽ぞろいの悪さ及び高温期の日持ち性、在圃性が課題となっています。そのため本試験では、従来から重視されている収量性や作業性の良さに加え、前述の課題を改善し得る品種の選定を目的としました。

関係先 旭川青果物生産出荷協議会 小松菜部会
東神楽農業協同組合 東神楽蔬菜研究会葉果菜部会

試験方法

・供試品種、播種日

	作期 1	作期 2	作期 3	作期 4	販売元
標準	MTK-79	TTK-81	TTK-83	MTK-79	(株)寺岡種苗園
参考	TTK-81	TTK-83	TTK-81	TTK-81	(株)寺岡種苗園
参考	春のセンバツ	春のセンバツ	春のセンバツ	春のセンバツ	トキタ種苗(株)
	よかった菜	こいしい菜	こいしい菜	よかった菜	カネコ種苗(株)
	さくらぎ	つなしま	いなむら	さくらぎ	(株)サカタのタネ
	-	TTU-566	TTU-566	-	タキイ種苗(株)
	-	TTK-90	TTK-90	-	(株)寺岡種苗園
	かな	なつき	なつき	かな	(株)トーホク
	TSX-984	R8-008	R8-008	TSX-984	トキタ種苗(株)
	ひと夏の恋	ひと夏の恋	ひと夏の恋	ひと夏の恋	(株)日本農林社
	MKS-G002	-	-	MKS-G002	みかど協和(株)
	MS-1288	里まつり	里まつり	MS-1288	(株)武蔵野種苗園
	のりちゃん	のりちゃん	のりちゃん	のりちゃん	雪印種苗(株)
合計	11	12	12	12	
播種	3月5日	6月3日	7月27日	9月15日	

※ ‘MTK-79’ ‘TTK-81’ ‘TTK-83’ ‘TTK-90’ は、CR（根こぶ病抵抗性）を有する（販売元情報）。

耕種概要

・施肥量（結果を掲載した作期 3）N－P－K＝1.5－0.1－0.6（kg/a）

調査項目

- ・生育調査：発芽率，収穫期までの日数など
- ・規格内株調査：草丈，葉数，一株重など
- ・収量調査：1a 当たり規格内収量など
- ・特性調査：草姿，葉色，葉の反りなど
- ・貯蔵性調査（作期 2，作期 3 のみ）

試験結果

試験は 4 作期実施しましたが，そのうち低温期である作期 1 及び作期 4 は，市内の慣行品種よりも有望である品種はありませんでした。

高温期である作期2及び作期3において有望品種を選定したことから、ここでは作期3の結果のみ掲載し、有望品種のみ紹介します。

表 作期3における標準品種及び有望品種の調査結果（抜粋）

品種	発芽率 (%)	収穫 日数 (日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	調製後 一株重 (g)	規格内 収量 (kg/a)	草姿 (指数)	葉色 (SPAD)	反り (指数)
(標準) TTK-83	98	26	28.2	9.6	33	290	4.3	46	1.3
R8-008	95	27	28.4	10.6	38	373	4.6	52	1.1
里まつり	99	28	28.2	10.2	39	485	3.7	48	1.1

※収穫日数：草丈が収穫の目安の28～29cmになった日数 ※草姿：（立性：5）～（開張性：1）

※葉色：葉緑素計測定値 ※反り：葉の反り。（強：5）～（弱：1）

（1）R8-008（トキタ種苗㈱）

- ・作期2及び作期3で成績が良好でした。
- ・慣行品種より収穫が数日遅れますが、高温期としては理想的な生育速度で、一株重がのり多収です。
また、在圃性もあります。
- ・立性の草姿により、収穫や調製の作業性が良好です。
- ・慣行品種‘春のセンバツ’と草姿や生育の進み方が似ているため栽培管理を変える必要がなく、作りやすいことから導入しやすいです。
- ・葉色の濃さから、黄化する時期が後退するため、収穫後の日持ち性が高いです。
- ・作期4では生育日数がかかりすぎたため、同時期の播種は避けるべきで、高温期向きの品種といえます。



R8-008（作期3）

（2）里まつり（㈱武蔵野種苗園）

- ・作期3で成績が良好でした。
- ・慣行品種より収穫が数日遅れますが、高温期としては理想的な生育速度で、一株重がのり、多収です。
また、在圃性もあります。
- ・高温期でも株がそろい、規格外の株が非常に少ないことも多収の要因です。
- ・作期2も収量性は高かったのですが、開張気味な草姿となり、収穫作業性が劣りました。しかし、特に気温が高い作期3では草姿が立性に近づき、作業性は向上しました。
- ・このように慣行品種と品種特性がやや異なることから、当地では高温期となる7月播種限定でまずは試作を行い、現地圃場での適性を判断することをお勧めします。



里まつり（作期3）